

6. 米国などで水道水の目標値等を厳しくする動きがあるようですが、日本の水道の水質基準値50ng/Lでは甘すぎるのではないのでしょうか。

回答

国は、最新の科学的知見に基づき、健康に悪影響が生じないと考えられる値として水道の水質基準値を50ng/L以下であることとしました。

国・機関	目標値等 PFOS	目標値等 PFOA	備考
日本（2025）	50ng/L (PFOS、PFOAの合算)		2026年4月1日から「水質基準項目」に引き上げ
WHO	-	-	2022年に暫定ガイドライン値としてPFOS 100ng/L、PFOA 100ng/Lを提案。総PFASは500ng/Lを提案
米国（2024）	4ng/L	4ng/L	2024年4月に飲料水規制を公表 2027年までに飲料水中のPFAS値のモニタリングと測定値の情報公開を実施し、基準を超過した場合は2029年までに削減措置を実施 PFHxS、PFNA、GenX化合物、PFBSの混合物としてのハザード指数（1.0）を設定 ※ただし、2025年5月にPFOS、PFOA以外の基準化を撤回するとともに、PFOS、PFOAの削減措置の期限を2031年とする方針を表明
英国（2024）	100ng/L		48種類のPFAS合計。
ドイツ（2017）	100ng/L	100ng/L	2023年に飲料水に係る法令が改正され、20種類のPFAS合計（C=4～13の各PFSA及びPFCA）100ng/Lは2026年、4種類のPFAS（PFOS、PFOA、PFNA、PFHxS）合計20ng/Lは2028年に適用予定
カナダ（2024）	30ng/L		25種類のPFAS合計